



八杉 光乗  
やすぎ みつる  
新政クラブ  
(90分)



### 学校給食の新たな運営体制と給食調理場の環境改善は

**問** ①新親子方式の導入に至った経緯とメリットは。

②給食調理場への空調設備の設置は。

**答** ①昨年度から試行的に、小学校で調理した給食を近隣の小学校1校に、または小学校および中



石岡 久彌  
いしおか ひさや  
無所属  
(30分)



### 人権・同和政策の撤廃等による投票率の向上は

**問** 去る8月11日には市長選挙、10月27日には衆議院議員選挙の投票票がそれぞれ行われたが、我が福山市民の投票率は極めて低く、とりわけ衆議院議員選挙における投票率は44・8%で、全国約1700の市町村の

学校1校に配送する新親子方式を児童生徒数の減少や調理場の老朽化等の課題に対応し、安心・安全で質の高い給食の継続的な提供と食育の推進を図ることを目的に実施することとした。メリットとして、調理場間の食数の平準化、人材育成と食育の充実、空調設置など効率的な環境整備が挙げられる。来年度から段階的に新親子方式のグループを増やし、2027年度から計40の調理場で調理し配送する運営体制で実施する考えである。②2027年度を目的に、全ての調理場に空調を整備する。

中で極めて低いとも言える数字であった。石岡議員の考えるその最大の理由は人権・同和政策に基づく「差別をなくそう」「差別をなくそう」という旨の行政指導により市民の心が閉塞感に包まれて暗さが充満し、もって市民のマインド、郷土愛、にぎわい、躍動感などが失われたからである。それ故、市長には本件政策を早急に撤廃、修正するべきと強く提言する。

**答** 本市の投票率と人権施策の間には関連はないと考えている。



三好 剛史  
みやoshi たけし  
無所属  
(30分)



### 望ましい学校教育環境の在り方の基本方針策定は

**問** 教育委員会は、福山市学校教育環境検討委員会を立ち上げ、新たな基本方針策定に取り

組むことを明らかにした。具体的に諮問事項と、委員の構成において市民から公募する理由は。新たな適正化計画策定も含め



塩沢 光江  
しおざわ みつえ  
無所属  
(30分)



### 子どもの居場所の充実は

**問** 子どもの遊びと生活を重視し、居場所となる児童館をなぜ作らないのか。また、交流館等の未利用の部屋の利用拡充は。

**答** 屋内遊戯場については子育て家庭のニーズ調査などで、悪天候でも利用できる屋内遊戯場を希望する多くの市民の声を踏まえ、

た検討も進めていく考えのようであるが、2015年の適正化の取り組み方針を引き継ぐのか。

**答** 諮問事項は教育委員会会議で協議し、決定する。市民公募委員の募集の目的は、子どもたちを取り巻く環境や学校の課題が、より複雑化、多様化しており市民の皆さまから広くご意見をうかがい教育行政に反映させるためである。今後、これまでの学校再編の成果なども踏まえる中で、検討委員会からの答申を受け、新たな基本方針の策定に取り組む考えである。

ネウボラセンターに併設することとした。親子で楽しめる空間としてふくやまふれ愛ランドがあり、また36カ所の保育施設で室内の遊び場を設置している。

新しい交流館には自由に使える交流スペースを設置している。

### 公共施設のバリアフリー化は

**問** 当事者の意見を生かす取り組みは。

**答** 障がい者団体などから意見をうかがい、安心して利用いただけるよう配慮している。